

排出ガス測定項目 測定場所：赤磐市環境センター

①

項 目	基 準 値	煙 道	令和5年度	
ダイオキシン類 (ng-TEQ/m ³ N)	1ng-TEQ/m ³ N 以下	1号炉	令和5年8月25日	0.025
		2号炉	令和5年8月24日	0.091

②

項 目	基準値	煙 道	令和5年度			
			令和5年5月30日	令和5年8月25日	令和5年11月16日	令和6年2月8日
ばいじん(ダスト)濃度	0.15g/m ³ N以下	1号炉	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.003未満
硫黄酸化物濃度	320ppm以下		2.00	0.98	3.90	7.10
塩化水素濃度	700mg/m ³ N以下		25	25	38	45
窒素酸化物濃度	250ppm以下		73	44	64	50
一酸化炭素濃度	100ppm以下		10	3未満	3未満	7
水銀濃度	50 μg/m ³ N		1.2未満		1.40	
項 目	基準値	煙 道	令和5年5月31日	令和5年8月24日	令和5年11月17日	令和6年2月9日
ばいじん(ダスト)濃度	0.15g/m ³ N以下	2号炉	0.003未満	0.003未満	0.003未満	0.004未満
硫黄酸化物濃度	320ppm以下		5.9	1.7	2.1	0.8未満
塩化水素濃度	700mg/m ³ N以下		67	37	39	22
窒素酸化物濃度	250ppm以下		50	39	50	32
一酸化炭素濃度	100ppm以下		4未満	4未満	4未満	5未満
水銀濃度	50 μg/m ³ N		1.6未満		1.8未満	

表中の未満は、測定定量下限値未満を示しています。

悪臭測定項目：測定場所は、測定位置図のとおりです。

③

項 目	基準値(敷地境界上)	令和5年度	
		No.1調査日	No.2調査日
		令和5年8月1日	令和5年8月1日
1 アンモニア	2ppm以下	0.1未満	0.1未満
2 メチルメルカプタン	0.004ppm以下	0.0002未満	0.0002未満
3 硫化水素	0.06ppm以下	0.002未満	0.002未満
4 硫化メチル	0.05ppm以下	0.001未満	0.001未満
5 二硫化メチル	0.03ppm以下	0.0009未満	0.0009未満
6 トリメチルアミン	0.02ppm以下	0.0005未満	0.0005未満
7 アセトアルデヒド	0.1ppm以下	0.005未満	0.005未満
8 プロピオンアルデヒド	0.1ppm以下	0.005未満	0.005未満
9 ノルマルブチルアルデヒド	0.03ppm以下	0.0009未満	0.0009未満
10 イソブチルアルデヒド	0.07ppm以下	0.002未満	0.002未満
11 ノルマルバレルアルデヒド	0.02ppm以下	0.0009未満	0.0009未満
12 イソバレルアルデヒド	0.006ppm以下	0.0003未満	0.0003未満
13 イソブタノール	4ppm以下	0.09未満	0.09未満
14 酢酸エチル	7ppm以下	0.3未満	0.3未満
15 メチルイソブチルケトン	3ppm以下	0.1未満	0.1未満
16 トルエン	30ppm以下	1未満	1未満
17 スチレン	0.8ppm以下	0.04未満	0.04未満
18 キシレン	2ppm以下	0.1未満	0.1未満
19 プロピオン酸	0.07ppm以下	0.003未満	0.003未満
20 ノルマル酪酸	0.002ppm以下	0.0001未満	0.0001未満
21 ノルマル吉草酸	0.002ppm以下	0.00009未満	0.00009未満
22 イソ吉草酸	0.004ppm以下	0.0001未満	0.0001未満

表中の未満は、測定定量下限値未満であることを示しています。

騒音及び振動測定：測定場所は、測定位置図のとおりです。

騒音測定：施設稼働による影響

④

測定地点	調査回数	時期	騒音レベル(dB)			
			朝:5時～7時	昼間:7時～20時	夕:20時～22時	夜間:22時～翌5時
東側 敷地境界 No.1地点	年4回	6月	49	52	70	51
		9月	49	49	49	49
		12月	43	45	44	39
		3月	46	50	45	38
北西側 敷地境界 No.2地点	年4回	6月	54	54	51	50
		9月	51	53	50	48
		12月	46	52	48	42
		3月	53	56	51	49
基準値(敷地境界上)			50	60	50	45

測定地点	調査回数	時期	騒音レベル(dB)	
			昼間:6時～22時	夜間:22時～翌6時
東側民地 No.3地点	年4回	6月	55	60
		9月	44	39
		12月	43	43
		3月	50	38
参考値※1			55	45
岡山 吉井線① No.4地点	年4回	6月	57	50
		9月	57	51
		12月	59	51
		3月	57	50
参考値※1			70	65

※1：参考値は、環境基準等の指定がないため、周辺環境の状況を踏まえて設定しています。

調査日：R5年6月6日～7日　9月5日～6日　12月5日～6日　R6年3月12日～13日

No.1、2、3の地点での騒音レベルが環境基準や参考値を上回りましたが、これらの主要な騒音源はカエル、虫、鳥、水路の流水音に起因する騒音であり、赤磐市環境センター施設稼働に起因する騒音が要因ではありませんでした。

騒音及び振動測定：測定場所は、測定位置図のとおりです。

振動測定：施設稼働による影響

⑤

測定地点	調査回数	時間帯	振動レベル(dB)	
			調査結果	基準値(敷地境界上)
東側敷地境界 No.1地点	年1回	昼間:7時～20時	25未満	60
		夜間:20時～翌7時	25未満	55
北西側敷地境界 No.2地点	年1回	昼間:7時～20時	28	60
		夜間:20時～翌7時	25未満	55
測定地点	調査回数	時間帯	振動レベル(dB)	
			調査結果	規制値等※1
東側民地 No.3地点	年1回	昼間:7時～20時	25未満	55
		夜間:20時～翌7時	25未満	55
岡山 吉井線① No.4地点	年1回	昼間:7時～20時	38	55
		夜間:20時～翌7時	28	55

調査結果は、各時間帯の算術平均値を示しています。

表中の未満は、測定定量下限値未満であることを示しています。

※1: No.3、No.4の周辺地点は、振動を感じる感じないの境界とされる振動レベルと比較しています。

調査日: 令和5年12月5日～6日

騒音及び振動測定：測定場所は、測定位置図のとおりです。

⑥ 騒音測定：収集運搬車両による影響

測定地点	調査回数	時間帯	騒音レベル(dB)	
			調査結果	基準値(参考値)
岡山 吉井線① No.4地点	年1回	昼間：6時～22時	69	(70)
		夜間：22時～翌6時	62	(65)
桜が丘北 幹線 No.5地点	年1回	昼間：6時～22時	63	65
		夜間：22時～翌6時	57	60
岡山 吉井線② No.6地点	年1回	昼間：6時～22時	73	(70)
		夜間：22時～翌6時	67	(65)

※参考値は、環境基準等の指定がないため、周辺環境の状況を踏まえて設定しています。

調査日：令和5年12月5日～6日

No.6の騒音レベルが基準値(参考値)を上回りましたが、他の交通車両の影響を大きく受けたことに起因します。

振動測定：収集運搬車両による影響

測定地点	調査回数	時間帯	振動レベル(dB)	
			調査結果	基準値
岡山 吉井線① No.4地点	年1回	昼間：7時～20時	38	65
		夜間：20時～翌7時	27	60
桜が丘北 幹線 No.5地点	年1回	昼間：7時～20時	25未満	70
		夜間：20時～翌7時	25未満	65
岡山 吉井線② No.6地点	年1回	昼間：7時～20時	42	65
		夜間：20時～翌7時	27	60

表中の未満は、測定定量下限値未満であることを示しています。

調査日：令和5年12月5日～6日

環境調査項目：測定場所は、測定位置図のとおりです。

⑦

大気質測定

調査項目		測定結果						
		No.1 津崎地区	No.2 下市地区	No.3 町苅田地区	No.4 桜が丘地区	No.5 西中地区	No.6 東窪田地区	No.7 尾谷地区
ダイオキシン類 (pg-TEQ/m ³)	測定値	0.0094	0.0160	0.0079	0.0120	0.0068	0.0093	0.0130
	基準値	年平均値0.6pg-TEQ/m ³ 以下						
硫黄酸化物(ppm)	1時間最高値	0.004	0.003	0.004	0.004	0.004	0.006	0.004
	基準値	0.1ppm以下						
	日平均最高値	0.001	0.001	0.002	0.001	0.002	0.002	0.001
	基準値	0.04ppm以下						
塩化水素(ppm)	期間平均値	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	参考値	0.02ppm以下						
窒素酸化物(ppm)	日平均最高値	0.006	0.004	0.006	0.005	0.006	0.006	0.004
	基準値	0.04ppm以下						
浮遊粒子状物質(mg/m ³)	1時間最高値	0.056	0.047	0.028	0.037	0.034	0.044	0.051
	基準値	0.20mg/m ³ 以下						
	日平均最高値	0.028	0.024	0.018	0.017	0.020	0.014	0.024
	基準値	0.10mg/m ³ 以下						

調査日：R5年11月2日～8日

表中の<は、測定定量下限値未満を示しています。

【測定場所】

津崎(津崎コミュニティハウス)、下市(山陽産業会館)、町苅田(石相小学校)、桜が丘(桜が丘運動公園)、西中(西山公民館)、東窪田(農業大学校)、尾谷(尾谷公会堂)

環境調査項目：測定場所は、測定位置図のとおりです。

⑧

ダイオキシン類濃度調査

媒体	調査回数	令和5年度			
		調査地点	試料採取日	調査結果	基準値
水質(pg-TEQ/L)	年1回	B-3 防災調整池放流口	令和5年11月16日	0.050	10
水質(pg-TEQ/L)	年1回	B-1 井戸	令和6年1月11日	0.046	1
		B-2 井戸	令和6年1月11日	0.046	
土壌(pg-TEQ/g)	年1回	C-1 田	令和6年1月11日	21	1,000
		C-2 田	令和6年1月11日	47	
		C-3 田	令和6年1月11日	22	

田の土壌測定値に若干差がありますが、この要因は自然界に存在するものに加え、稲作での除草剤の使用、農業用水としての田への引き込み(水中にもダイオキシンが溶け込みやすい)など長年にわたり蓄積されたことに起因するものと考えられます。